

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし
全国で組織建設と
拡大をすすめよう！



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ 3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

18年末一時金 昨年比 **3万円アップ65万円** (2・30カ月)

19春闘を展望 職場と産別で闘争強化



文化シャッター労連は初回51万円 (1・86カ月)、2次54万円の低額回答に対し9日、全国で全面スト。土日ははさんだ16日と19日にも拠点の3工場で全面ストに突入。19日、スト待機を力に4次回答57万5668円 (2・10カ月) を引き出し妥結した。(写真上・右=16日・姫路支部)

低額・ゼロ回答職場を激励、産別団交で追い上げ

JMITUの18年末一時金闘争は回答指定日の11月6日以降22日までに、全国141支部分会(昨年同時期143支部分会)で回答が引き出されています。回答は支部平均59万5511円 (2・08カ月)、組合員平均65万4737円 (2・30カ月)。昨年同時期に比べそれぞれ、2万円~3万6000円上回っています。

初回回答を受けた8日には、超音波工業支部(東京西部)、東洋精機支部(東京北部)などが時限ストに入ったのをはじめ、大阪地本が集会・デモ、埼玉や東京各地協などで支部代表者会議がおこなわれ、職場と産別のたたかいで要求前進をと決意を固めました。

回答では、愛知・川本製作所116万1100円 (3・85カ月)、京滋・カシフジ支部90万円+α (3・55カ月)、栃木・レオン自動機支部99万6462円 (3・0カ月)、NTTデータ86万6000円 (3・46カ月) などで3カ月を超えています。アドバンテ

スト支部(埼玉など)では昨年を32万5700円上回る129万800円 (4・00カ月)、神港精機支部(兵庫・京滋)では昨年同時期を31万円上回る68万円 (2・31カ月)、超音波工業支部(東京)では初回翌日のストライキ以降4次回答まで積み上げ、昨年妥結額を24万円上回る91万7000円 (3・04カ月) を引き出しました。

超繁忙が続くなか、まともな一時金を求める職場のたたかいと産別団交など産業別統一闘争の力で、多くのところで2次、3次、4次と上積みをはかっています。

一方、儲かっているにもかかわらず回答を渋る経営者や、経営責任を労働者に転嫁し低額回答を押しつけているところもあります。

一時金闘争はなお上積みをめざす団交が続けられており、回答延期・ゼロ回答の約20支部分会での有額回答引き出しへ、産別団交を強めています。

賃金毎年1%(田辺)、一律5000円(甲南電機)引き上げ、家族手当支給2万円(川本)

継続雇用者の要求、今年も各地で前進

JMITUの18秋闘要求は11月22日現在、昨年と同数の139支部分会が要求を提出し、半数を超える72支部分会で前進回答を引き出すなど、昨年と比べ前進回答が20支部分会増えています。なお年末一時金と合わせ交渉が継続しています。

統一要求の「本物の働き方改革」要求では、日本IBM支部での「高プロは現時点では導入する予定はない」をはじめ、「高プロや裁量労働制の導入は組合の要求を理解する」(東京・大東工業支部)、「36協定の見直しはおこなわない」(兵庫・日本アスコ支部)など26支部分会で前進回答を引き出しています。

主な前進回答は職場の諸要求28、安全衛生16、人員増9、労災補償上積み4支部分会などと。継続雇用者の待遇改善要求では、「4月より月例賃金を一律5000円引き上げる」(兵庫・甲南電機)、「来年4月1日より基本給を毎年1%引き上げ5年かけて定年時の55%にする」(大阪・田辺鉄工)、「家族手当を支給(配偶者2万円、子ども7000円)」(愛知・川本製作所)など、今年の秋闘でも前進回答が引き出されています。

このほか、「下期に9人中途採用」(大阪・ヤマトマシン支部)、「派遣社員を正社員化」(兵庫・関西エンジニア支部)、「保育園から高校の入学・卒業式に特別休暇」(神奈川・川崎支部三和エレクトロニクス分会)、「半日休暇18日→24日」(兵庫・京滋・神港精機)、「18歳未満の家族手当15000円→25000円」(千葉・五井モーター支部)、「人間ドッグ半額補助」(長野・丸子警報器)。さらには雇用にかかわる重要施策での「事前協議協定」(東京北部・鈴木シャッター支部)、「組合事務所にネット回線」(埼玉・東鋼業)など、労働組合の権利を含め、さまざまな要求で前進回答が引き出されています。

大幅賃金実現!

19春闘勝利へ方針パンフ発行

JMITUは2019年春闘に向け、方針パンフを発行しました。11月24～25日、湯河原で開かれる春闘討論集会で提起され、全国討議に付されます。年末から年明けにかけて各地で討論集会がおこなわれ、各職場でも「読み合わせ・討議」がスタートします。

19春闘は、各職場とも人手不足による超繁忙が続き、消費税増税もねらわれるなか、「大幅賃上げで暮らし改善を」の要求が高まっています。各職場で春闘アンケートや家計簿調査にとりくみ要求づくりが開始されます。

19春闘は大幅賃上げ実現とともに、9条改憲と消費税10%増税を許さない春闘としてたたかわれます。

「JMITU」(メールニュース版)は、毎月発行を基本としつつ、闘争時の職場のたたかいなどを適時発信していきます。各支部・分会などひろく展開してください。